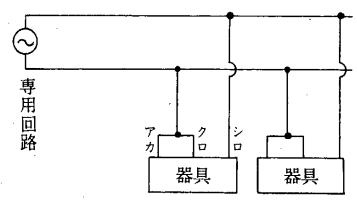
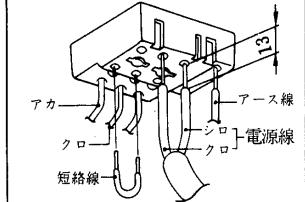
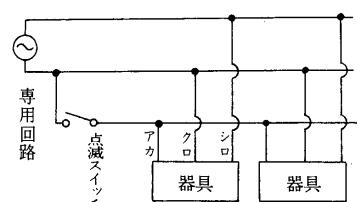
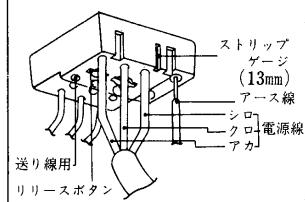


TOSHIBA

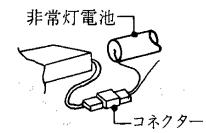
●配線方法

- 電源は必ず単相2線から配線してください。単相3線・3相3線からの配線は部品を焼損することがあります。
- 電源回路は必ず分電盤からの専用回路とし、分電盤と器具の間には点滅スイッチを設けないでください。

2線引配線の場合 (連続点灯)	<p>端子台のアカとクロの間を短絡線で結線してください。</p>  
3線引配線の場合 (平常時の点滅操作)	<p>端子台のシロとクロを電源に接続し、アカとクロとの間にスイッチ回路を設けてください。</p>  

- 階段通路誘導灯としてお使いになる場合の配線方法は、原則として2線引配線です。3線引配線を行う場合には、所轄の消防署の了解を得てください。

- 非常灯電池の放電を防ぐためにコネクターをはずしてありますので、ご使用の際には通電後、コネクターを差し込んでください。



特にご注意を

- この器具は壁面の丈夫なところに取り付けてください。
- 薄い壁面(1cm以下)に取り付けますとねじ止めが弱く、振動などで器具が落下するもとになります。
- この器具の電源は昼夜連続給電してください。
- 三ヶ月に一回、定期的に非常点灯を行ない、点灯状態を確認し、点検カードにその結果を記入してください。なお、点灯時間が30分(誘導灯の場合は20分)以下の場合は、内蔵の電池を交換してください。
- 交換した古い電池はすべてないで、お買い求め先または東芝お客様ご相談センターにお渡しください。
- ランプ交換や器具の清掃のときは、必ず電池についているコネクターを取りはずしてから、平常電源を切ってください。
- 紙や布などをかぶせたりして使用しないでください。器具の温度が高くなり、火災などの事故のもとになります。
- 器具を改造したり、部品を変更して使用しないでください。性能が十分に発揮できなければ危険です。
- ランプ交換の際には、「東芝蛍光ランプ〈サークライン〉
ワットブライター 30ワット形」とご指定ください。
(注)東芝蛍光ランプ一般形も交換使用可能です。
- 点灯管交換の際には東芝点灯管FG-1Eとご指定ください。
- 非常灯電池交換の際には3·2NR-CU-LEをお求めください。

修理サービス

ご使用中に異常が生じたときは、お使いになるのをやめ、非常灯電池についているコネクターを取りはずしてから平常電源を切って、お買いあげの販売店(工事店)またはお近くの東芝お客様ご相談センターにご相談ください。なお、ご相談されるときは器具の形式およびお買いあげ時期をお忘れなくお知らせください。

東芝ライテック株式会社

施設・HID事業部 〒140 東京都品川区南品川2-2-13(南品川JNビル) TEL (03)5463-8768

(001E217)C

お客様はお読みになったあとも必ず保存してください。

●仕 様

形 名	FTC-31805-GL
平 常 時	電 源 交流50Hzまたは60Hz 100V
	入力電流 0.65A
	入力電力 34W
非 常 時	光 源 FCL30/28×1
	電 源 密閉形Ni-Cd蓄電池 3·2 NR-CU-LE 6V 2000mAh
	光 源 FCL30/28×1
光束比 36%	

点検のポイント

- 外観チェック
 - 充電モニターが点灯していますか。
 - 光源、反射板などは汚れていませんか。
- 切替動作チェック
点検スイッチを引いてください。
非常灯に切り替わりますか。
- 性能チェック
点灯持続時間
 - 非常灯
非常灯切替後30分間点灯が持続しますか。
 - 誘導灯
非常灯切替後20分間点灯が持続しますか。

注意事項

- 非常灯、誘導灯器具の電源は昼夜連続給電願います。
- 3ヶ月に1度は定期的に点検し、点検カードに記録願います。
- 点灯持続時間のチェックを行ない、性能が満足しないときは器具に内蔵されている同一形名の非常灯電池と交換してください。
※交換した古い非常灯電池はすべてないでお買い求め先または最寄りの東芝お客様ご相談センターにお渡しください。
- 万一うまく動作しない場合、原因がわからない時にはお買い求め先または最寄りの東芝お客様ご相談センターにご連絡ください。